ＴＴＣ提案山行実施記録表

2010年04月11日　報告者：三村

山行名	**足利行道山･大岩山・両崖山**［442m/栃木県］　名刹と展望・春の花を愛でながらのハイキング
実施月日	Ｈ２２年４月１０日(土)［日帰り］　往復マイクロバス利用
天候／参加人員	天候：晴時々曇　　レベル：★☆　　参加人員（申込:２４人、実行:　２０人）
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	ＣＬ/計画:　、　ＳＬ:、　会計:、　救護:、　ﾄﾞﾗｲﾊﾞ：　氏　名　削　除
参加メンバ	Ａ班：(班長)、(お試し参加：１名) Ｂ班：(班長)、　氏　名　削　除 Ｃ班：(班長)、 Ｄ班：(班長)、　女１３名／男７名
費用 ｶﾝﾊﾟ金¥2,540	**約4，３００円**（交通費：¥3,843＋足利学校入館料金¥330＋TTCｶﾝﾊﾟ金¥127） 内訳　ﾏｲｸﾛﾊﾞｽﾚﾝﾀﾙ料金¥40,000、運転手謝礼(¥18,000+早朝加算¥1,000)¥19,000、燃料代[@110x(400+待機50km)/5]¥9,900、高速料金(東名¥1,450x2＋首都高¥680x2＋東北道浦和-佐野藤岡(往路¥2,050＋帰路¥1,650)＝¥7,960／交通費合計¥76,860/一人当たり¥3,843、足利学校入館料(団体割@330x20)¥6,600 集金(@4,300x20)¥86,000－支出¥83,460＝残金¥2,540（ｶﾝﾊﾟ金会計に繰入）

	行動時間	歩行時間	休憩時間	下見山行（無）
ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ上	－	３：００	－	行動時間比(実行/計画)　1.01
計画	５：０５	３：００	２：０５	歩行時間比(実行/計画)　1.14
実行	**５：０７**	**３：２５**	**１：４２**	〃　(実行/ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ)　1.14

実行コースタイム記録

東名¥1450　首都高/中央環状線　(事故渋滞82分)　東北道¥2,050　R50号線　(ﾄｲﾚ/体操)

鳶尾＝(新宿･林)＝ﾖｰｶﾄﾞｰ前＝厚木IC＝＝東京料金所＝大橋JCT＝＝(安行)＝＝浦和料金所＝＝蓮田SA＝＝佐野藤岡IC＝＝浮因寺駐車場

5:50　6:15　6:22　6:54　7:43　9:05　9:15/9:30　9:53　10:33/10:45

0:27　0:15　0:18　(昼食)　0:15　0:17　(参拝/ﾄｲﾚ)　0:40　0:23（足利城址）0:27　0:18

――浮因寺――寝釈迦――行道山頂上(石尊山展望台)―大岩山剣ｶﾞ峰―大岩山毘沙門天――ｶﾀｸﾘの里――両崖山――猿岩展望台――

11:12　11:27/11:40　11:58/12:35　12:50　13:07/13:20　14:00/14:08　14:31/14:45　15:12/15:17

(参拝)　0:05　(ﾄｲﾚ)　(見学)　R50号　東北道(¥1,650)　(夕食休憩)　中央環状　東名道¥1450

織姫神社――神社駐車場＝＝足利学校＝＝佐野藤岡IC＝浦和料金所＝川口PA＝＝大橋JCT＝東京料金所＝厚木IC＝ﾖｰｶﾄﾞ前＝＝鳶尾

15:35　15:40/15:50　15:58/16:25　17:11　15:56　17:53/18:24　19:30　19:36　19:58　20:10　20:35頃

累積標高差：登り500m／下り680m／歩行距離6.5km

コースの概要、 特記事項、反省事項　等

H22年度ｵｰﾌﾟﾆﾝｸﾞ山行として、低山ながら赤城山や日光方面の好展望台でTTCとしてまだ未実施の本ﾊｲｷﾝｸﾞｺｰｽを選んだ。TTC入会希望でお試し山行のO氏を加え、総勢20名にて出発する。早起きのIｻﾝにしては珍しく寝坊してﾏｲｸﾛﾊﾞｽの配車が遅れるﾊﾌﾟﾆﾝｸﾞがあり、朝からﾊﾗﾊﾗしたが、何とか間に合った。3/27に開通した東名道と東北道を繋ぐ首都高環状線山手ﾄﾝﾈﾙ(全長10km)を往復とも通過し、次の鳴虫山山行のｽﾀｯﾌに車線変更のﾎﾟｲﾝﾄ等を伝授しながら東北道に向かった。東北道浦和料金所入口付近で大事故による大渋滞に遭遇し、ここを通り抜けるのに80分も要し、蓮田SAのﾄｲﾚにやっとの思いで駆け込む始末。それでも目的地の足利行道山浮因寺下の駐車場に計画より35分遅れで辿り着き胸をなぜ下ろす。

関東の高野山と称される浮因寺。本堂が焼失してしまったとのことで期待はずれだった。山上に多くの石仏に守られた寝釈迦は身長50～60cmとかわいらしい。道標が不親切で、行道山に登る道を探すのに5分ほどﾀｲﾑﾛｽをしてしまった。登り着いた標高442mの行道山頂上(石尊山展望台)は360度の展望が開け、北西に3/20に頂上を踏んだ赤城山、そして左に袈裟丸山、皇海山、まだ真白い日光白根山、鳴虫山や夕日岳等の前日光の山々の上に、頂上を雲に隠した日光男体山が望めた。

頂上から標高差50～60m下って登り返したところが大岩山剣ｶﾞ峰のﾋﾟｰｸ。ここから道標に従って下った処に、日本3大毘沙門天の一つであるという大岩山毘沙門天に参拝。境内には樹齢600年の大杉が3本あり、本堂もいかにも古くて由緒在りそうな佇まいだった。

ここから再度尾根に登り返し、両崖山に向かったが、約3kmの距離で5～６個の小ﾋﾟｰｸを越えた先にあり、思いのほか時間がかかった。ここから先はﾊｲｶｰも多く、露岩の尾根が続いて展望がすこぶる良く、眼下に足利の町並みや渡良瀬川、北関東自動車道の工事現場等が見渡せた。途中、ﾂﾂｼﾞも咲き始め、朱色のﾔﾏﾂﾂｼﾞに紫色のﾄｳｺﾞｸﾐﾂﾊﾞﾂﾂｼﾞの他、寝釈迦の近くにはｱｶﾔｼｵも咲いていた。途中休憩したｶﾀｸﾘの里のｶﾀｸﾘは咲き終わりに近かった。猿岩展望台から織姫神社に向かう尾根筋は織姫公園として整備され、丁度ｿﾒｲﾖｼﾉが満開で、ｻｸﾗのﾄﾝﾈﾙの下を足利の町並みを見下ろしながらの散歩ｺｰｽ。朱塗りのきらびやかな社殿の織姫神社に参拝し、石段を下りてIｻﾝのﾊﾞｽが待つ駐車場に計画より35分遅れて無事下山。

足利学校の見学時間を気にし、ﾄｲﾚﾀｲﾑのみで整理体操を割愛し、急いでﾊﾞｽに乗車して足利学校に向かった。日本最古の大学として有名だが、榧葺き屋根の母屋も庭園も整備され過ぎるほど整備されており、少々違和感を覚えた。

蓮田SAは混雑が激しいので、TTCとしては立ち寄ったことがない川口PAにﾊﾞｽを留めて夕食ﾀｲﾑ。綺麗で空いており値段が安くて食事の味も良いとおおむね好評だった。帰路も首都高中央環状を通過し、予定通り午後8時過ぎに厚木帰着。